

平成28年度当初予算の概要

～世代を超えて住みたい・住み続けたいまちへ～

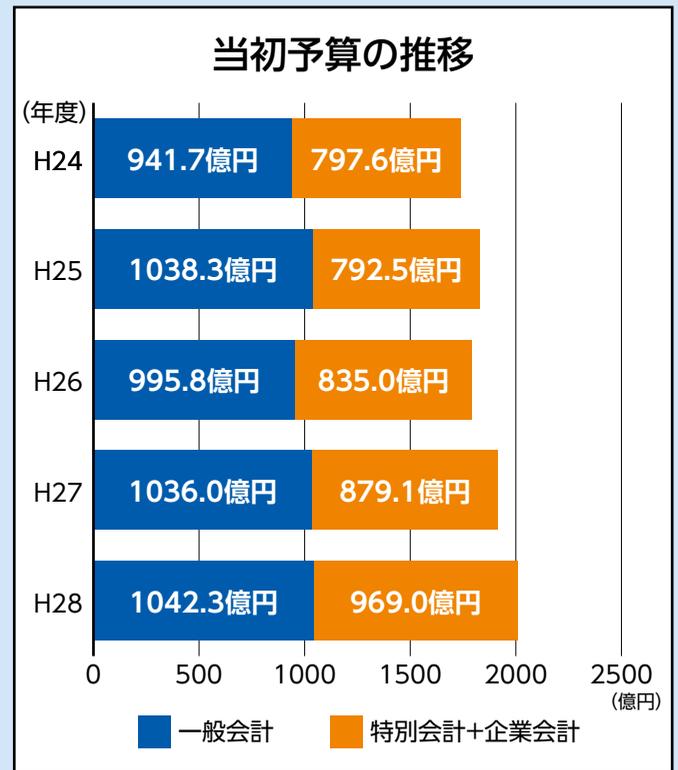
一般会計、特別会計、企業会計の各予算議案を審議し、全ての予算案を原案どおり可決しました。

平成28年度は、これまでの本市の人口増の流れを確かなものとし、人口減少の克服と地域活力の向上を図るために、市外の方には「住みたい」、市民には「住み続けたい」と世代を超えて思われる、選ばれるまちづくりを推進します。

予算総額 2011億2957万円 (前年度比5.0%増)



※28年度から下水道事業は、特別会計から企業会計へ移行します。



(金額は表示単位未満を四捨五入)

重点事業と予算額

明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる3つの目標である「トリプルスリー」人口30万人、年間出生数3千人、本の年間貸出冊数300万冊を踏まえ、市民生活に密着した「教育・子育て」および「福祉・医療」分野の取り組みを一層推進するとともに、明石の暮らしやすさをより多くの方に知ってもらうため、まちの魅力や市の施策を市内外に広く発信します。また、一層の権限と責任を持って、市民サービスの向上のための施策を効率的・効果的に展開するため、中核市移行に向けて取り組みます。

教育・子育て

- ・ 保育所・認定こども園の新設・増設など待機児童解消への緊急対策 (18億8698万円)
- ・ 保育料の第2子以降完全無料化 (4億1977万円) ※平成28年9月から
- ・ 小・中学校、明石商業高校への空調設備設置 (6億2590万円)
- ・ 小学1年生への30人学級の導入 (3840万円)



福祉・医療

- ・ 公共施設の無料利用などの特典が受けられる「高齢者パスポート制度」の導入 (893万円)
- ・ 障害者の社会参加を促すための助成制度の創設など差別解消に向けた取り組み (1208万円)



明石の良さの発信

- ・ ブックスタートやまちなか図書館の実施など「本のまち明石」の推進 (2722万円)
- ・ シティセールスの推進 (2992万円)



中核市移行に向けた取り組み

- ・ 保健所の設置準備、中核市移行に向けた組織体制の検討 (4380万円)

